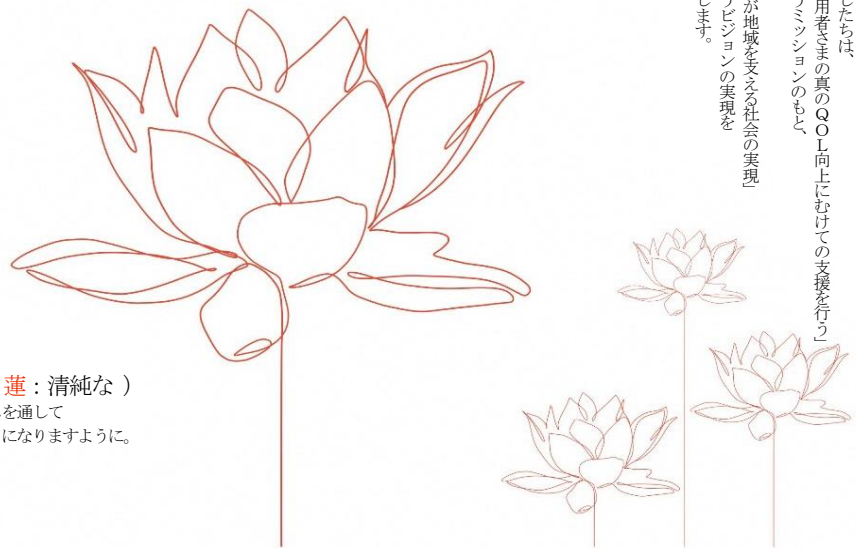
【法人ＰＲ】

障がい者が障がいがあるのが問題なのでなく
障がい者が活躍できない社会が問題である。

誰もが活躍できる社会を創りたい。
そして障がいという概念自体もなくしたい。
その想いでリハスは創業しました。

わたしたちは、
「ご利用者さまの真のＱＯＬ向上にむけての支援を行う」
というミッションのもと、
「福祉が地域を支える社会の実現」
というビジョンの実現を
目指します。



リハス（Re：再び　蓮：清純な）
リハスのサービスを通して
すべての人が「最幸の尽生」になりますように。

わたしたちの想い

わたしたちのサービスは
「人」が全てです。
人がヒトを幸せにし、
ヒトが人に幸せを与えます。

企業活動の中で
常にそれを意識し、
関わる全ての人が
「最幸な尽生」になるように、
社会に価値を
提供し続けます。

わたしたちは「障がい」をなくすしごとをしています。

そのしごとは単に、病気を治す、
環境をととのえる、ということではありません。
すべてのひとが何かしらの障がいがあっても
だれかに必要とされたり、誰かを支えたりしているのが
あたりまえな社会をつくるしごとです。
その先には障がいという概念自体もちろん
障がいという概念そのものがない未来があると考えています。
わたしたちはこの未来づくりのために
これからも変わらず、変わりつづけていきます。

「障がい」とはなんでしょう。

どんなひとにもあるもの、
そうわたしたちは考えています。

例えば、わたし自身、そしてあなた。
わたしも、あなたも、完全ではありません。
誰にだってできること、できないこと、
得意なこと、苦手なことがあります。
そう障がいはずっと身近なもので、
だれにでもあるもの。
「障がい者」にだけあるものではありません。